

平成27年度

わかりやすい かさまの予算

～みんなで創る 文化交流都市～



はじめに

笠間市では、社会情勢の変化に的確に対応した、独自性・自主性の高いまちづくりを進めるための指針として「笠間市総合計画」を策定しています。その計画に基づき「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」～みんなで創る 文化交流都市～の実現に向けて各種施策を展開しています。

さらに、「笠間市総合計画 後期基本計画」で掲げている、重点化を図る3つの視点「健康都市づくり」・「防災力向上」・「地域の活性化」を基本として、平成27年度は「世界で活躍できる人と地域を支える人づくり」、「持続し魅力にあふれた街づくり」、「地域で循環するモノづくり」の3点を重点課題と位置づけ、90事業を重要事務事業と定めています。

まず、「人づくり」では、次代を担う子どもたちが郷土に愛着を持ち、国内外で活躍できるような人材育成を推進するとともに、地域社会を担う人材づくりを目指します。

「街づくり」では、コンパクトなまちづくりとして、友部、岩間、稲田の3駅周辺を整備地区とした「駅周辺の活性化」と観光交流拠点の賑わいを目的とした「笠間稲荷周辺の活性化」を柱に、それぞれの整備を進めます。

「モノづくり」では、地域経済力を高めるため、食、農業、観光業や地場産業などのあらゆる分野において、地域の「モノ、カネ」が地域で循環する仕組みを構築します。

平成27年度は、これら重点的な課題への新たな取り組みを積極的に進めるとともに、効率的で実効性の高い行政運営を推進するための予算を編成いたしました。

また、国の平成26度補正予算による緊急経済対策として平成26年度3月補正予算に計上した事業についても、平成27年度予算と併せて一体的に取り組んでまいります。

笠間市の予算について、市民の皆さまに納めていただいた税金などが、どのように使われるのかをお知らせするため、「わかりやすいかさまの予算」を作成いたしましたので、どうぞご覧ください。

これからも「開かれた市政、情報公開」を理念に、信頼できる行政をめざしてまいりますので、今後とも、市政へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成27年3月

笠間市長 山口 伸樹

目次

I . 予算の概要	1
II . 緊急経済対策	2
III . 主な重要事務事業	3
1 . 世界で活躍できる人と地域を支える人づくり	3
2 . 持続し魅力にあふれた街づくり	5
3 . 地域で循環するモノづくり	8
IV . 重要事務事業一覧	10
V . 各会計の予算額	12
1 . 一般会計	12
2 . 国民健康保険特別会計	16
3 . 後期高齢者医療特別会計	16
4 . 介護保険特別会計	17
5 . 介護サービス事業特別会計	17
6 . 公共下水道事業特別会計	18
7 . 農業集落排水事業特別会計	18
8 . 岩間駅東土地区画整理事業特別会計	19
9 . 市立病院事業会計	20
10 . 水道事業会計	21
11 . 工業用水道事業会計	21
VI . 市債の状況	22
VII . 基金の状況	24
VIII . 主な普通建設事業位置図	26

I. 予算の概要

平成27年度笠間市の予算規模（一般会計、特別会計及び企業会計予算の合計）は過去最大の528億930万7千円であり、前年度と比較すると23億1,115万6千円（4.6%）の増となっています。

国民健康保険特別会計の12億7,700万円（14.1%）の増と一般会計の8億7,000万円（3.1%）の増が主な要因となっています。



笠間特別観光大使
笠間のいな吉®

【平成27年度会計別予算状況】

(単位：千円,%)

会計名	平成27年度 予算額	平成26年度 予算額	比較 増減額	比較 増減率
一般会計	29,120,000	28,250,000	870,000	3.1
特別会計	20,402,620	18,935,245	1,467,375	7.7
国民健康保険特別会計	10,335,000	9,058,000	1,277,000	14.1
後期高齢者医療特別会計	697,000	691,000	6,000	0.9
介護保険特別会計	6,084,000	5,644,000	440,000	7.8
介護サービス事業特別会計	25,000	24,600	400	1.6
公共下水道事業特別会計	2,515,000	2,603,000	▲88,000	▲3.4
農業集落排水事業特別会計	680,000	824,000	▲144,000	▲17.5
岩間駅東土地区画整理事業特別会計	66,620	90,645	▲24,025	▲26.5
企業会計	3,286,687	3,312,906	▲26,219	▲0.8
病院事業会計	751,582	701,006	50,576	7.2
収益的支出	696,000	694,000	2,000	0.3
資本的支出	55,582	7,006	48,576	693.3
水道事業会計	2,507,031	2,577,564	▲70,533	▲2.7
収益的支出	1,877,230	1,941,000	▲63,770	▲3.3
資本的支出	629,801	636,564	▲6,763	▲1.1
工業用水道事業会計	28,074	34,336	▲6,262	▲18.2
収益的支出	28,074	29,800	▲1,726	▲5.8
資本的支出	0	4,536	▲4,536	▲100.0
合計	52,809,307	50,498,151	2,311,156	4.6

いな吉メモ① 『会計区分』

市町村では、お金の管理を『会計』で区分するんだよ。特定の事業をする時は、『特別会計』を設置して事務を行うんだ。また、特別会計の中でも独立採算性方式で会計をする場合は、『企業会計』を設置するんだよ。

- 一般会計・・・税を主な収入として、福祉、土木、教育、衛生などの基本的な施策を行う会計
- 特別会計・・・保険料や使用料などの特定収入により、特定の事業を行う会計
- 企業会計・・・特別会計のうち事業収益により、事業運営を行う会計



II. 緊急経済対策

平成27年2月3日に、「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」にかかる補正予算が国会で成立し、国と地方とが一丸となって景気回復に向けた事業を実施することになりました。

『地域の実情に配慮した消費の喚起』『しごとづくりなどの構造的な課題への取組による活性化』『災害復旧等の緊急対応や復興の加速化』の3点に重点を置いており、現在の景気の状態に対応するための対策となっています。

笠間市においては、約2億3,600万円の予算を計上し、消費喚起や生活支援、まち・ひと・しごとの創生といった対策に取り組みます。

これらの予算については、国と同様に平成26年度の予算に計上し、繰越事業として平成27年度に実施します。

○緊急経済対策事業

プレミアム付商品券発行事業

新規

地域の消費拡大、地方経済の活性化を図るため、市内の商店等で使用できるプレミアム付商品券を発行します。

115,000千円

ふるさと名物商品事業

新規

地域の名産品や観光資源の知名度向上・販売促進を図るため、インターネットやカタログで「ふるさと名物商品」を割引販売します。

6,000千円

笠間ファン倶楽部推進事業

交流人口を拡充し、産業振興や地域活性化を推進するため、ファン倶楽部通信の発行や体験イベントをとおして、市内外の笠間ファン拡大を図ります。

2,223千円

地域デザイン調査研究事業

都市ブランドの向上や若者の流入を図るため、市のコンセプト形成や各地域のデザイン形成を実施します。今年度は、友部地区の地域デザイン形成を実施します。

3,240千円

地方創生総合戦略策定事業

新規

各種調査、有識者会議及び研究会等を実施し、地方創生総合戦略を策定します。

9,184千円



ほかの緊急経済対策事業は次のページ以降にあるよ♪

いな吉メモ② 『事業の繰越し』

地方公共団体の予算は、「会計年度の独立の原則」があるから、その年度の事業は、その年度の収入で実施することが基本なんだ。

ただし例外として、市議会で『繰越し』が認められれば、翌年度に繰り越して使うことができるんだよ。

緊急経済対策事業は、平成26年度の予算だけど、3月の市議会で『繰越し』が議決されてるから、平成27年度に実施できるんだ。

Ⅲ. 主な重要事務事業

笠間市では、重点的に取り組む事業を選定し、『重要事務事業』として位置づけています。特に今年度は平成27年度当初予算に計上した事業と、平成26年度3月補正予算に『緊急経済対策』として計上した事業とを合わせて、90事業を重要事務事業としています。

ここでは『人づくり』『街づくり』『モノづくり』という重点課題ごとに、主な重要事務事業を紹介します。

【世界で活躍できる人と地域を支える人づくり】

次代を担う子どもたちが郷土に愛着を持ち、国内外で活躍できる人材になれるように、子育て環境の向上や教育の充実を図ります。また、地域社会を支える人材として、高齢者や女性に注目した人材の育成促進を進めます。

子育て世代包括支援センター事業 **新規**

安心して妊娠・出産・子育てができる環境をつくるため、総合相談窓口として子育て世代包括支援センターを、友部保健センターに設置します。

— 千円

母子保健事業

母子の健康保持及び増進のため、妊婦及び乳幼児の健康診査等を行います。

59,496千円

特定不妊治療費補助事業

**経済
対策** **拡充**

少子化対策の一環として、特定不妊治療を実施する夫婦に治療費の助成をします。今年度は、男性の不妊治療費に対しても上乘せの補助を開始します。

6,000千円

出会い創出支援事業

**経済
対策** **拡充**

「晩婚化」や「未婚化」の状況を改善するため、出会いの場を創出する団体への助成やセミナー等の開催、婚活サポーターによる婚活支援を行います。

2,086千円

健康増進事業

健康意識のレベルアップ・疾病予防・健康増進を図るため、専門医師による健康講座を開催します。また、生活習慣病予防のため、健康体操や栄養教室など各種教室を開催します。

1,602千円



生活困窮者自立支援事業**拡充**

離職により住宅を失った生活困窮者等へ家賃相当額の給付金を支給します。また、今年度からは、相談支援員や就労支援員等を配置して相談体制を強化し、情報提供・助言を積極的に行うことで、生活困窮者の自立を支援します。

14,443千円**定住化促進事業****経済
対策**

少子高齢化による人口減少を改善するため、首都圏を中心に本市への移住のPR活動を行い、笠間市への定住化を促進します。

**206千円****英語教育強化推進事業****経済
対策** **新規**

グローバル化に対応した英語教育を進めるため、市内の小中学校に英語指導助手を配置し、英語教育の充実と学習意欲の向上を図ります。また、英語の検定試験にかかる費用を一部負担します。

37,224千円**英語教育プログラム
交流推進事業****経済
対策** **新規**

グローバル化に対応した英語教育を推進するため、市立幼稚園・保育所に国際交流員を派遣し、絵本や歌、音楽を通して英語に触れる機会を増やします。

3,520千円**寺子屋事業****経済
対策**

市内の小学校5、6年生を対象として、土曜日に学びの機会を提供し、学力と学習意欲の向上を目指します。

**6,394千円****女性の活躍応援事業
(潜在有資格者研修会)****経済
対策** **新規**

女性の社会進出を促進するため、資格を有している方の再就職の不安解消を目的とした研修会を開催します。

271千円**地域コミュニティ
創生モデル事業****新規**

地域の課題を解決するため、行政区や子ども会、高齢者クラブ等が、単独または連携して実施する地域コミュニティ活動のモデル事業に対して助成します。

2,400千円

【世界で活躍できる人と地域を支える人づくり】

【持続し魅力にあふれた街づくり】

生活サービス機能等の向上に向けたコンパクトなまちづくりを引き続き推進するため、友部・岩間・稲田駅の3駅周辺を整備地区とした「駅周辺の活性化」と観光交流拠点の賑わい創出を目的とした「笠間稲荷周辺の活性化」を柱に整備を進めます。

稲田駅周辺整備事業

拡充

稲田地区の賑わい創出のため、県道稲田停車場線（稲田駅前道路区間）の歩行者空間の整備と稲田駅前広場の整備を行います。

56,650千円

笠間稲荷周辺まちづくり拠点整備事業

拡充

まちづくり交流拠点を整備するため、旧井筒屋旅館本館の耐震化に向けた基礎工事を行い、用地取得や散策路の設計等を行います。

66,512千円

笠間稲荷門前通り整備事業

笠間稲荷門前通り周辺の賑わいを創出するため、歩行者に優しく景観に配慮した道路を整備し、地域の活性化を図ります。



80,760千円

市街地活性化促進事業

新規

駅周辺及び笠間稲荷神社周辺の活性化を促進するため、民間事業者等が行う施設整備事業に助成します。

30,078千円

県道水戸岩間線歩行者空間整備事業

新規

歩行者の回遊性を向上するため、県道水戸岩間線（岩間駅前道路区間）の歩行者空間の整備と歩行者の憩いの場となるポケットパークの整備を行います。

41,200千円

笠間モデル創出事業

経済
対策

新規

人口減少・少子化・高齢化に直面している中で、サービス向上を目指した都市モデルの構築を図るため、笠間版CCRCやシェアタウン戦略を推進します。

13,424千円

橋梁長寿命化修繕事業

新規

平成25年度に策定した「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋梁の補修を行います。今年度は東原橋（湯崎）や大砂橋（長兎路）の舗装打換を行います。

20,600千円

デマンドタクシーかさま運行事業 **拡充**

乗り合いタクシーを運行することで、公共交通空白地域の解消や、交通弱者の方々の日常生活の移動を支援します。また、今年度は、土曜日の試験運行を実施します。



67,419千円

恋人の聖地関連整備事業 **拡充**

北山公園のバーベキュー場やキャンプ場などの再整備をします。また、吾国愛宕ハイキングコースに誘導サインの設置をします。



157,059千円

安居工業地域整備推進事業 **拡充**

安居工業地域の整備を促進するため、地権者説明会、促進協議会の設立、基盤施設整備の検討を行います。

7,036千円

児童クラブ運営・施設整備事業 **拡充**

市内全小学校の放課後児童クラブの運営をします。また、希望者増に伴い友部小学校児童クラブを増築し、統廃合に伴い笠間小学校に仮施設を新設します。

182,490千円

認定こども園整備事業(笠間地区) **拡充**

平成28年4月開園予定の笠間地区幼保連携型認定こども園を建設します。

993,424千円

認定こども園整備事業(稲田地区) **新規**

平成29年4月開園予定の稲田地区幼保連携型認定こども園の設計業務委託を行います。

23,579千円

介護健診クラウド運営事業

介護支援体制を強化するため、介護認定情報・見守り支援情報・救急医療情報などを、市民・事業者・行政が共有できるシステムを運用します。

10,473千円

友部駅周辺整備事業 **拡充**

市道(友)1175号線・1195号線(南友部)の拡幅や市道(友)1級6号線(美原)の浸水対策工事を行います。

103,200千円

【持続し魅力にあふれた街づくり】

狭あい道路整備促進事業

新規

狭あい道路の拡幅整備を行います。今年度は、市道（友）3206号線（旭町）の測量設計、市道（岩）西277号線（大綱）・西309号線（北根）の工事などを行います。

67,184千円

芸術の森公園周辺景観整備事業

新規

笠間芸術の森公園北ゲート前の歩行者景観整備工事及び広場整備工事と東ゲート前広場整備工事を行います。

16,500千円

空き家等の適正管理事業

管理不全な状態の空き家の解体撤去工事費の一部を補助することにより、老朽化した危険な空き家の撤去を促進します。

3,045千円

公共施設等総合管理計画策定事業

新規

市が保有・管理する公共施設等の管理費用の縮減と平準化を図るために、笠間市公共施設等総合管理計画を策定し、包括的なメンテナンスサイクルを構築します。

14,803千円

茨城消防救急無線・指令センター整備事業

広域のかつ迅速に対応でき、大規模災害に強い体制を構築するため、消防救急無線のデジタル化整備を行います。

115,739千円



小学校施設環境改善事業

新規

老朽化した施設の改修を進め、学校施設の環境改善を図るために、今年度は、岩間第一小学校の校舎外壁やトイレなどの改修に係る実施設計を行います。

7,690千円



岩間第一小学校

中学校施設環境改善事業

新規

充実した環境の中で柔道や剣道などの指導・習得ができるように、平成28年度完成を目指して、笠間中学校の武道場新設整備に係る実施設計を行います。

22,396千円

笠間公民館リニューアル事業

新規

昭和57年の完成以来33年が経過し、全体的に老朽化が進んでいる笠間公民館のリニューアルに向けた改修の実施設計を行います。

31,569千円

【持続し魅力にあふれた街づくり】

地域交流センター整備事業**拡充**

市民活動の拠点となる複合的な機能を持つ地域交流センターを友部地区、岩間地区に整備します。今年度は友部地区の建設工事と岩間地区の実施設計を行います。

332,528千円**新笠間市誕生10周年記念事業****新規**

新笠間市誕生10周年を記念した式典や市民総参加のスポーツの祭典「かさま市民運動会」の開催、記念植樹の実施などの記念事業を行います。

16,581千円**笠間城跡保存整備調査事業****拡充**

市指定史跡区域を中心とした約0.42km²について、航空レーザー測量を行い、発掘調査や縄張調査の基礎となる地形測量図を作成します。

16,679千円

笠間城跡

【地域で循環するモノづくり】

地域経済力を高めるために、食・農業・観光業・地場産業などあらゆる分野において、地域の「モノ、カネ」が地域内で循環する仕組みを構築します。

また、優良企業を市内に立地するために、市独自の助成制度のPRを行い、県と連携して誘致活動に取り組みます。

さらに、本市の誇る笠間焼や稲田みかげ石などの地場産業の継承、販売戦略の強化、ブランド力の向上を図ります。

農業公社運営事業**拡充**

担い手への農地集積や新規就農者の育成・確保、農産品の販売拡大、グリーンツーリズムの推進などを実施する農業公社を支援します。

14,497千円**企業誘致推進事業****拡充**

企業立地の意向調査や立地促進PRを実施するとともに、新規立地企業への補助や新規立地企業の従業員への家賃補助など各種助成を行うことで企業誘致を図ります。

102,858千円**筑波山地域ジオパーク推進事業****経済
対策**

筑波山周辺地域の6市等で連携し、地質・自然環境・歴史文化といった地域資源を活かした「ジオパーク」の取組を推進し、地域の活性化等を図ります。

1,551千円

観光PR戦略事業 経済対策 拡充

通年滞在型の観光を振興するため、観光関連団体と連携したPRを実施し、笠間の知名度のアップと新規観光客の増大を図ります。

2,910千円

外国人旅行者受入事業 経済対策 拡充


外国人旅行者が快適に滞在・観光できるように、受入体制を整えます。今年度は、ガイドブック（英語版）の作成や、「かさまナビふるふる」の英語対応等を進めます。

5,460千円

地場産業支援事業（笠間焼振興） 経済対策

国指定伝統工芸品である笠間焼の産業振興のため、作家の創業支援やイベント等の支援をします。また、笠間焼協同組合が実施する新商品の開発、陶炎際の開催やPR事業など、笠間焼の振興費用の一部を助成します。

6,999千円



地場農産物PR事業 経済対策 拡充

地域農業の競争力を向上させるため、市内で生産される農産物や加工品の知名度向上やイメージアップを図ります。また、今年度は首都圏の大学と連携し、販売促進を図ります。

10,739千円

企業活動促進事業 経済対策 拡充

地元企業の活動を支援するため、福利厚生施設を整備した企業や、市民を新規に雇用した企業に助成します。

6,000千円

買い物弱者支援事業 経済対策 新規

日常の買い物が不便になっている地区を支援するため、需要調査も兼ねて移動販売の試験運行を行います。

473千円

地元雇用対策事業 経済対策 拡充

地元での雇用者を獲得するため就職面接会を開催し、市内事業所の雇用促進を支援します。

657千円

筑波海軍航空隊展示運営事業 拡充

平成25年12月の開館以来多くの方が来場している筑波海軍航空隊記念館の運営を行います。

17,227千円



筑波海軍航空隊記念館

【地域で循環するモノづくり】

IV. 平成27年度 重要事務事業一覽

笠間市総合計画 基本構想 (平成19年度～平成28年度)

〔将来像〕
 住みよいまち 訪れてよいまち 笠間
 みんなで創る ～文化交流都市～

後期基本計画 (平成24年度～平成28年度)

〔重点視点〕 重点化を図る3つの視点

- 健康都市づくり
- 防災力向上
- 地域の活性化

平成27年度重点課題

- 人づくり 世界で活躍できる人と地域を支える人づくり
- 街づくり 持続し魅力にあふれた街づくり
- モノづくり 地域で循環するモノづくり

政策	施策	事業名	重点視点	重点課題	事業費	新規・拡充	
第1章 土地利用・都市基盤	拠点づくりと市街地整備	稲田駅周辺整備事業【駅周辺活性化プラン】 (県道稲田停車場線歩行者空間整備・駅前広場整備)	【地域】	街	56,650 千円	拡充	
		笠間稲荷門前通り整備事業 (道路景観整備)	【地域】	街	80,760 千円		
		笠間稲荷周辺まちづくり拠点整備事業 (旧井筒屋旅館改修と周辺散策路整備の設計等)	【地域】	街	66,512 千円	拡充	
		市街地活性化促進事業 (駅周辺・笠間稲荷周辺の活性化施設整備等助成)		街	30,078 千円	新規	
		県道水戸岩間線歩行者空間整備事業【駅周辺活性化プラン】	【地域】	街	41,200 千円	新規	
		笠間モデル創出事業 (CCRC構想・シェアタウン構想)	【地域】	街	※ 13,424 千円	新規	
	幹線道路	橋梁長寿命化修繕事業		【防災】	街	20,600 千円	新規
		幹線道路整備事業 (来栖本戸線・南友部平町線・笠間小原線・市道(友)2級5号線[随分附]・岩間駅東大通り線[延伸部])		【健康】 【防災】	街	479,691 千円	
		都市計画道路再検討事業			街	14,572 千円	
	公共交通	デマンドタクシーかさま運行事業 (土曜日試験運行)		【健康】 【地域】	街	67,419 千円	拡充
第2章 産業	観光	筑波山地域ジオパーク推進事業	【健康】 【地域】	モノ	420 千円 ※ 1,131 千円		
		恋人の聖地関連整備事業 (北山公園再整備・吾国愛宕ハイキングコース誘導サイン設置)	【地域】	街	157,059 千円	拡充	
		観光PR戦略事業 (旅行会社・各種メディアへのPR・新たな旅行商品開発促進)		モノ	※ 2,910 千円	拡充	
		外国人旅行者受入事業 (まちなかガイドシステムの多言語化)		モノ	※ 5,460 千円	拡充	
	地場産業	地場産業支援事業 (笠間焼振興)	【地域】	モノ	2,210 千円 ※ 4,789 千円		
		地場農産物PR事業 (ブランド化、PRイベント、大学との連携)	【地域】	モノ	30 千円 ※ 10,709 千円	拡充	
	農林業	担い手対策強化促進事業 (認定農業者・集落営農組織育成支援、青年就農者支援)	【地域】	人	14,673 千円		
		農山漁村活性化プロジェクト交付金事業 (大古山地区基盤整備)		モノ	24,693 千円		
		森林機能緊急回復整備事業 (森林整備)		モノ	30,256 千円		
		遊休農地活用緊急対策事業 (耕作放棄地解消支援)		モノ	7,295 千円		
		農業公社運営事業 (グリーンツーリズム推進・担い手対策・6次産業・販売促進)	【地域】	モノ	14,497 千円	拡充	
	商業	商店街活性化事業 (商工会補助・市内周遊アートのまちめぐり事業)	【地域】	モノ	3,928 千円		
		企業活動促進事業 (地元企業活用促進)		モノ	※ 6,000 千円	拡充	
		買い物弱者支援事業	【地域】	モノ	※ 473 千円	新規	
	工業	安居工業地域整備推進事業 (協議会の発足、基盤施設整備の検討)		街	7,036 千円	拡充	
		企業誘致推進事業 (立地意向調査・立地促進PR・立地促進各種助成)	【地域】	モノ	102,858 千円	拡充	
	雇用・労働環境	地元雇用対策事業 (首都圏大学・女性向け面接相談会)		モノ	※ 657 千円	拡充	
第3章 健康・福祉	子ども子育て支援	子ども・子育て支援事業計画推進事業 (企画・運営)		人	144 千円		
		家庭児童相談・要保護児童支援事業		人	3,118 千円		
		児童クラブ運営・施設整備事業 (友部小クラブ増設・笠間小クラブ新設設計)		街	182,490 千円	拡充	
		児童館運営事業		街	30,927 千円		
		認定こども園整備事業 (笠間地区整備)	【健康】	街	993,424 千円	拡充	
		認定こども園整備事業 (稲田地区基本・実施設計)	【健康】	街	23,579 千円	新規	
		子育て世代包括支援センター事業		人	— 千円	新規	
	少子化対策	母子保健事業 (母子手帳交付・母子健診・相談・家庭訪問・親子教室)	【健康】	人	59,496 千円		
		特定不妊治療費補助事業 (特定不妊治療及びその一環として行われる男性不妊治療)		人	※ 6,000 千円	拡充	
		出会い創出支援事業 (1市3町広域連携ウェブサイト運営・男女マナーアップセミナー・婚活サポーター養成)		人	1,138 千円 ※ 948 千円	拡充	
	保健・医療	ヘルスリーダーによる健康づくり推進事業	【健康】	人	1,533 千円		
		健康都市づくり事業 (普及・啓発)	【健康】	街	287 千円		

政策	施策	事業名	重点視点	重点課題	事業費	新規・拡充	
第3章 健康・福祉	保健・医療	がん検診推進事業（乳がん・子宮頸がん・大腸がん・肺がん・胃がん）	【健康】	人	11,906 千円		
		健康増進事業（各種教室） （糖尿病予防・慢性腎臓病予防・スリムアップ・健康体操・女子カアップ）	【健康】	人	1,602 千円		
		各種検診推進事業（生活習慣病予防健診）	【健康】	人	60,049 千円		
		国民健康保険健診事業（特定健診・人間ドック・脳ドック・特定健診未受診者対策）	【健康】	人	83,826 千円	拡充	
		かさま地域医療教育ステーション事業（筑波大学病院指導医派遣・研修生受入）	【健康】	街	16,000 千円		
		市立病院整備事業（実施設計）	【健康】	街	48,600 千円	新規	
	社会保障	平日夜間・日曜初期救急診療事業			街	18,870 千円	
		医療福祉費支給事業（マル福市単独分） 医療福祉費自己負担金助成事業（外来・入院時）	【健康】	人	77,643 千円		
	地域福祉	生活困窮者自立支援事業（自立支援相談業務・住居確保給付金支給）		人	14,443 千円	拡充	
	高齢者福祉	包括的支援事業（総合相談・ケアマネジメントリーダー活動）	【健康】【地域】	人	7,045 千円		
		認知症高齢者見守り事業		人	392 千円		
		介護予防事業 （地域リーダー育成・介護予防教室事業・運動教室・講演会）	【健康】	人	3,851 千円		
	障害者福祉	介護健診クラウド運営事業	【健康】	街	10,473 千円		
障害者地域生活支援事業			人	63,084 千円			
第4章 生活環境	生活道路	道路ストック総点検事業（道路照明・標識等の老朽度調査）	【防災】	街	2,060 千円		
		友部駅周辺整備事業（市道（友）1175号線・市道（友）1195号線整備等）	【防災】	街	103,200 千円	拡充	
		狭あい道路整備促進事業 （市道（友）3206号線・市道（岩）西277号線・市道（岩）西309号線）		街	67,184 千円	新規	
		市道（笠）2336号線（ギャラリーロード）整備事業（歩道景観整備）	【健康】【地域】	街	39,140 千円		
	公園・緑地	芸術の森公園周辺景観整備事業 （北ゲート前歩道及び広場・東ゲート前広場）	【健康】【地域】	街	16,500 千円	新規	
	上水道	水道施設等整備事業（石綿管更新・鉛製給水管解消等）	【防災】	街	187,900 千円		
	生活排水	下水道長寿命化計画推進事業（計画に沿った施設改修）		街	280,000 千円		
		公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽整備事業 地方公営企業法適用準備事業（下水道の公営企業化）		街	731,304 千円		
	住宅	市営住宅長寿命化事業（市営石井第2住宅修繕工事）		街	18,080 千円		
		定住化促進事業（首都圏へのPR）	【地域】	人	※ 206 千円		
		空き家活用推進事業（空き家バンク、空き家活用支援助成）	【地域】	街	2,400 千円		
	防災	自主防災組織育成事業	【防災】	人	1,036 千円		
	消防	茨城消防救急無線・指令センター整備事業（消防救急無線デジタル化）	【防災】	街	115,739 千円		
		民間救急ボランティア育成・啓発事業	【防災】	人	196 千円		
		環境保全 公害防止	自然エネルギー活用助成事業（住宅用太陽光発電システム設置助成）	【健康】	街	15,000 千円	
		空き家等の適正管理事業（老朽・危険空き家解体費助成）	【健康】【地域】	街	3,045 千円		
		第二次環境基本計画策定事業	【健康】	街	6,647 千円		
	第5章 教育・文化	学校教育	学力向上支援事業（非常勤講師の配置、チームティーチング授業）		人	47,957 千円	
英語教育強化推進事業（幼小中高連携による一体的な英語教育の推進）				人	※ 37,224 千円	新規	
寺子屋事業				人	※ 6,394 千円		
小学校施設環境改善事業（岩間第一小校舎改修実施設計）			【防災】	街	7,690 千円	新規	
中学校施設環境改善事業（笠間中武道場新設実施設計）		【防災】	街	22,396 千円	新規		
生涯学習		笠間公民館リニューアル事業（実施設計）		街	31,569 千円	新規	
スポーツ レクリエーション		かさま陶芸の里ハーフマラソン大会事業	【健康】	人	7,820 千円		
		県下中学校交歓笠間市駅伝大会事業	【健康】	人	1,602 千円		
文化財		笠間城跡保存整備調査事業	【地域】	街	16,679 千円	拡充	
芸術・文化		全国こども陶芸展推進事業	【地域】	人	5,895 千円		
	筑波海軍航空隊展示運営事業（筑波海軍航空隊記念館の運営）		モノ	17,227 千円	拡充		
国際化	英語教育プログラム交流推進事業（JETプログラムによる英語教育の推進）		人	※ 3,520 千円	新規		
第6章 自治・協働	男女共同参画社会	女性の活躍応援事業（潜在有資格者研修会）		人	※ 271 千円	新規	
	市民協働	地域交流センター整備事業【駅周辺活性化プラン】 （友部地区交流センター整備・岩間地区交流センター実施設計）	【健康】【地域】	街	332,528 千円	拡充	
		地域ポイント制度事業	【地域】	人	2,952 千円		
		地域コミュニティ創生モデル事業（活動費助成）		人	2,400 千円	新規	
	財政運営	新笠間市誕生10周年記念事業（記念式典・市民運動会・記念植樹）	【健康】【地域】	街	16,581 千円	新規	
		収納対策事務（催告・財産調査・滞納処分）		街	49,656 千円		
	公共施設等総合管理計画策定事業		街	14,803 千円	新規		

※については、緊急経済対策に関わるものですので、H26年度3月補正に計上し、H27年度予算に繰り越します。

V. 各会計の予算額 ～平成27年度予算について～

一般会計

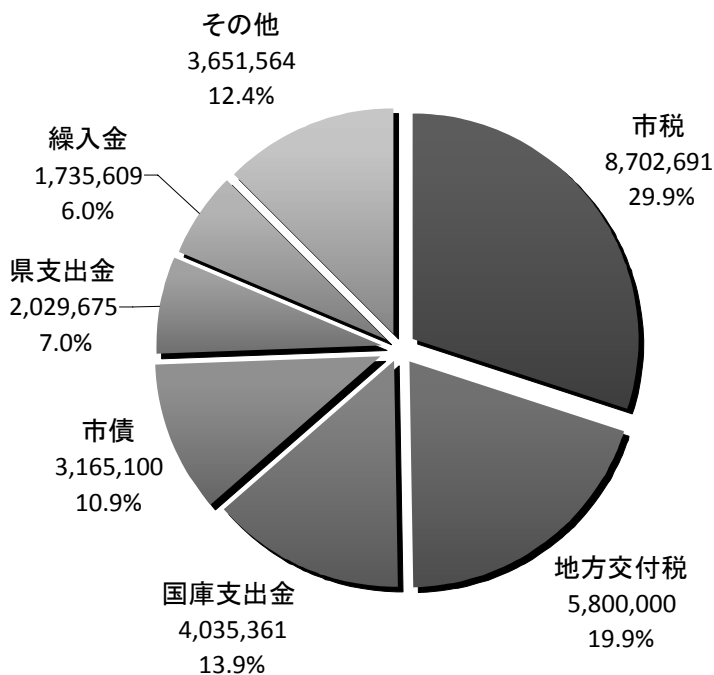
特別会計や企業会計に属さない財政を包括的、一般的に経理する会計です。市民税等を財源として、福祉、土木、教育、衛生など多岐にわたり事業を行います。

平成27年度予算は291億2,000万円
前年度比8億7,000万円増で過去最高額

○歳入予算

歳入とはいわゆる『収入』のことです。1年間のうちに見込まれる収入が計上されています。笠間市においては、「市税」が最も多い割合を占めています。地方交付税は58億円、国・県支出金は約60億円で見込んでいます。

《 歳入予算内訳（千円） 》



市 税	市民税・固定資産税などの税金です。
地方交付税	国で一括徴収した税金を市町村に分配するものです。
国庫支出金	国からの補助金・負担金などです。特定の事業に使います。
市 債	事業を進めるために国や金融機関から借り入れるお金です。
県 支 出 金	県からの補助金・負担金などです。特定の事業に使います。
繰 入 金	主に基金の取り崩し金です。目的に沿って使います。
そ の 他	各種使用料や前年度からの繰越金などです。

いな吉メモ③ 『予算って、そもそも何??』

予算は、1年間（4月から翌年の3月まで）の収入と支出の計画を作ることなんだ。どれくらいの収入が入ってきて、どのくらいの行政サービスができるかを計算した計画書みたいなものだよ。

やりたいことを、どんどんやっていって、『気が付いたらお金が無い』なんてことにならないように、必要なものなんだ。

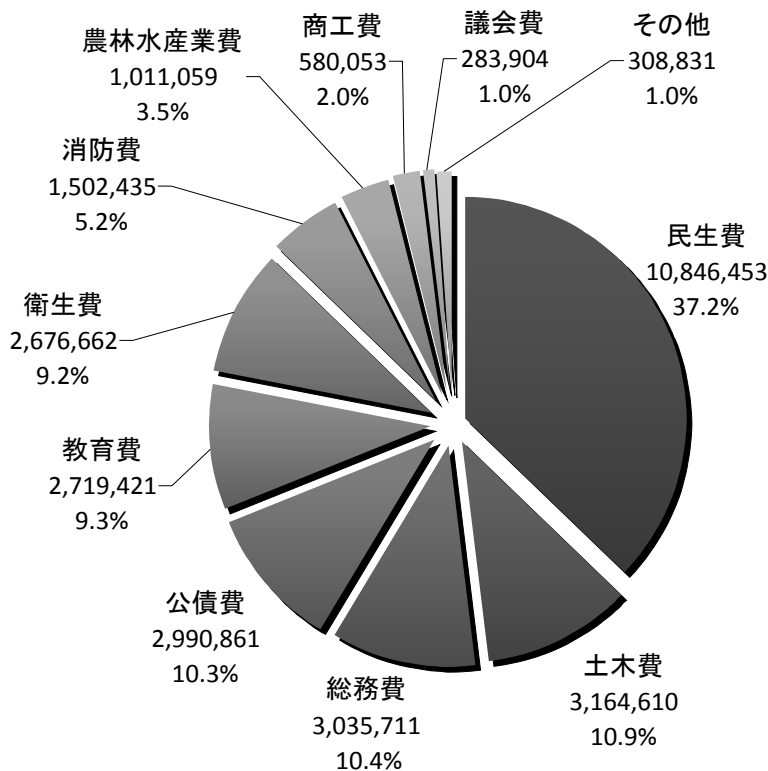
だから、歳出の予算額以上のお金は使えないようになってるんだよ。

○歳出予算

歳出とはいわゆる『支出』のことです。1年間のうちに見込まれる支出が計上されています。予算書には、それらがどのような目的に使われるかという『目的別』に区分され、記載されています。これにより、どのような目的にどのくらい事業費がかかる見込みなのかがわかります。

今年度も「民生費」が最も多い割合を占めています。

《 歳出予算内訳【目的別】 (千円) 》



どんな行政サービスに、どのくらい事業費を見込んでいるのかわかるよ。笠間市は福祉のための事業費（民生費）が1番多いんだ。今年度は、認定こども園の整備などを実施するよ。



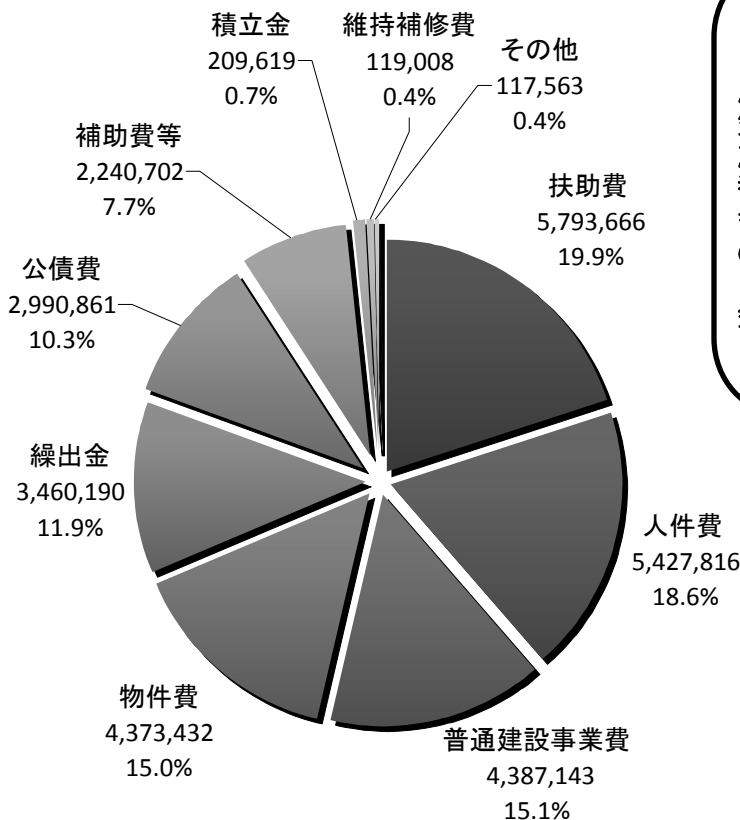
民生費	社会福祉，児童福祉，生活保護などの事業費です。
土木費	道路・公園などの整備・管理などの事業費です。
総務費	庁舎の維持管理，広報紙発行，選挙などの事業費です。
公債費	借入金を返済する事業費です。
教育費	学校・図書館などの事業費，スポーツ大会などの事業費です。
衛生費	各種健診・予防接種，ごみ収集などの事業費です。
消防費	火災や台風などの防災活動事業費です。
農林水産業費	農業や林業の振興のための事業費です。
商工費	商工業の振興や観光事業を推進するための事業費です。
議会費	議員報酬や議会の運営に関する事業費です。
その他	病院・水道事業への支出金，不測の事態に備えた予備費等です。

いな吉メモ④ 『予算って、誰が決めているの??』

予算は、市長が案を作って市議会に提出するんだ。そこで色々な審議・議論がされて、決定されるんだよ。

ここでは、歳出予算を性質にしたがって区分しています。生活支援や道路整備などの事業を実施するために、どのような性質の費用がかかる見込みなのかがわかります。今年度は、「扶助費」が最も多い割合を占めています。

《 歳出予算内訳【性質別】（千円） 》



どんな費用を、いくら見込んでいるのかがわかるよ。笠間市は福祉などの支援のための経費（扶助費）が一番多いんだ。今年度は、子育て支援制度の改正があって、民間認定こども園への負担金や補助金が増えるよ。



扶助費	児童・高齢者・障害者・生活困窮者などへの支援のための費用です。
人件費	議員や特別職員，一般職員の給料などや各委員等の報酬です。
普通建設事業費	建設工事にかかる費用です。
物件費	委託や備品の購入，消耗品にかかる費用などです。
繰出金	他の会計に支出するお金のうち補助費等以外のものです。
公債費	借入金の返済にかかる費用です。
補助費等	他の会計や，個人・団体へ支払う補助金や負担金などです。
積立金	基金などに積み立てるお金です。
維持補修費	施設等の維持管理に必要な補修費です。
その他	出資金や貸付金，予備費などです。

いな吉メモ⑥ 『一度決めた予算は変えないの??』

当初予算で見込んでいない事があった時、例えば災害が起こって予定外の経費がかかる場合は、それに対応した予算に変更するんだ。これを『補正予算』というんだよ。これも当初予算と同じように、市長が案を作って、市議会で決まるんだ。前のページで話に出た、緊急経済対策事業にかかる経費も、この補正予算で変更したんだよ。

市の予算を 家計簿に たとえると

市の予算は『億』単位と大きいため、実感がわきづらいかと思います。そこで、少しでもわかりやすくするために、市の予算（一般会計分）を『年収500万円の家庭』にたとえてみました。

市の予算と家計とでは、単純に比較できない面もありますが、1つの目安としてご覧ください。

収入

給料（基本給） <small>市税</small>	150万円
諸手当・ボーナス <small>譲与税, 交付金, 交付税</small>	133万円
パート収入 <small>使用料, 負担金など</small>	29万円
親からの援助 <small>国庫支出金, 県支出金</small>	104万円
銀行からの借入れ <small>市債</small>	54万円
定期預金の取り崩し <small>繰入金</small>	30万円
合計	500万円

支出

食費 <small>人件費</small>	93万円	義務的経費
家族の医療費や保険料など <small>扶助費</small>	100万円	
ローンの返済 <small>公債費</small>	51万円	
電気料, ガス料, 水道料, 電話料など <small>物件費</small>	75万円	
自宅の増改築や家財道具購入など <small>普通建設事業費, 維持補修費</small>	77万円	
授業料, 自治会費など <small>補助費等</small>	39万円	
預貯金の積み立て <small>積立金など</small>	6万円	
子どもへの仕送り <small>繰出金</small>	59万円	
合計	500万円	



笠間市の義務的経費は全体の約49%を占めてるんだね。

その他

預貯金 <small>基金残高</small>	268万円
----------------------------	-------

借金 <small>市債残高</small>	509万円
---------------------------	-------

国民健康保険特別会計

病気やけがをした時に安心して治療を受けられるように、加入者がお互いに助け合う『国民健康保険』制度を運営するための会計です。

職場の健康保険に加入していない方などが世帯ごとに加入します。



平成27年度予算は103億3,500万円
前年度比12億7,700万円増

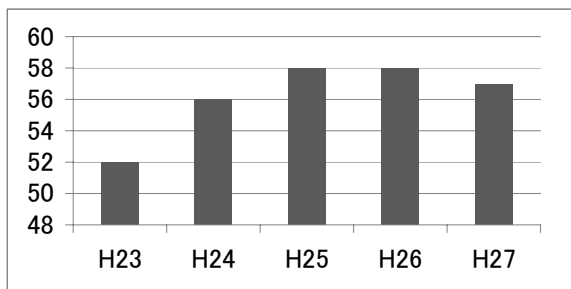
今年度は、保険財政共同安定化事業に制度改正があり、共同事業拠出金が約14億円増えています。また、特定健康診査受診率向上のための意向調査・分析を新たに実施します。



被保険者は約24,000人を見込んでいて、そのうち約3分の1が前期高齢者（65歳～74歳）になってるよ。市の保険給付費は1人当たり約24万円だよ。

【保険給付費の推移】

(単位：億円)



○主な事業

国民健康保険健診事業

国保加入者の生活習慣病を予防するために、健康診査、健康指導を行います。また、人間ドック・脳ドックの受診を促進するため、検診費を助成します。

83,826千円

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者（75歳以上）が安心して治療を受けられるように、後期高齢者と若年者とで支える『後期高齢者医療』制度を運営するための会計です。



平成27年度予算は6億9,700万円
前年並み

今年度は、保険給付を行っている後期高齢者医療広域連合への納付金を微増で見込んでいます。

また前年同様に、人間ドック・脳ドックの検診費に対する助成を実施します。

介護保険特別会計

介護が必要な方を社会全体で支えあう「介護保険」制度を運営するための会計です。

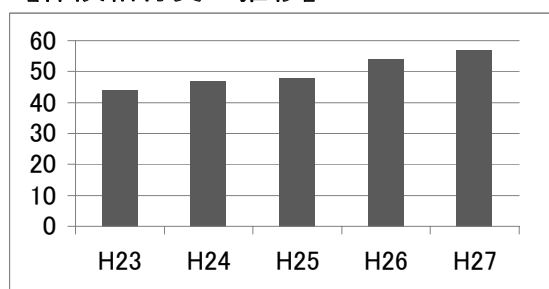
現在、40歳以上の方が加入者となり、要介護者や要支援者等を支えています。



平成27年度予算は60億8,400万円
前年度比4億4,000万円増

今年度は、介護サービスの利用の増加に伴い、保険給付費が約3億円増額する見込みとなっています。また、『地域包括支援センター』の人員を増やし、介護予防対策の強化を図ります。

【保険給付費の推移】 (単位：億円)



介護保険のサービスを利用するには、まず要介護（要支援）認定の申請が必要なんだ。今年度の見込みは約3,500人で、去年より約300人増えるよ。1人当たりの給付費は約160万円なんだ。

○主な事業（保険給付費以外）

介護予防事業

スクエアステップ教室やシルバーリハビリ体操教室を開き、運動機能の維持・回復の促進を図ります。

3,851千円

認知症高齢者見守り事業

地域に根ざした見守り体制・情報ネットワークを構築し、地域における高齢者支援体制を強化します。

392千円

介護サービス事業特別会計

介護予防サービス計画書（ケアプラン）を作成し、介護予防対策の強化を図るための会計です。

計画作成費を主な収入として運営しています。

平成27年度予算は2,500万円
前年並み

今年度は、計画書作成件数を微増の4,920件で見込んでいます。



公共下水道事業特別会計

台所やトイレなどで流した生活雑排水をきれいに
する公共下水道事業を運営するための会計で
す。

下水道の利用者が負担する使用料を徴収し、施
設の運営管理や下水道の整備、老朽化した施設の
修繕や機器等の更新を行います。

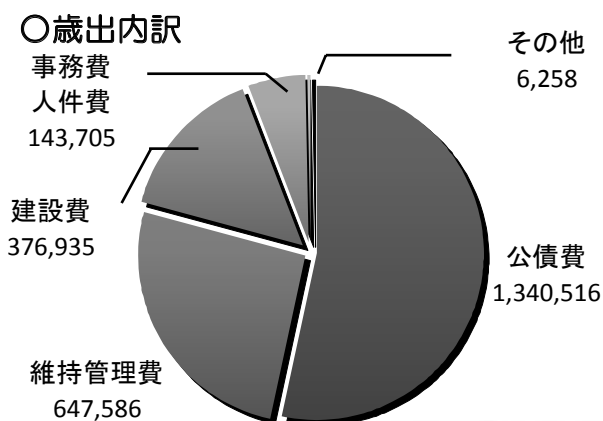
市街地を中心とした区域の下水道施設の整備・
管理をしています。



浄化センターともべ

平成27年度予算は25億1,500万円
前年度比8,800万円減

今年度は、下水道施設整備費が約3億
8,000万円減額したこと等により全
体予算は減額となっています。また、前
年度に引き続き浄化センターともべの施
設改修工事を行い、下水道施設の長寿命
化を図ります。ほかにも新たな取り組み
として、会計方法を企業会計へと移行す
る準備を始めます。



○主な事業

下水道長寿命化計画推進事業

長寿命化計画に基づいた、施設の修
繕・機器更新を行います。今年度は中
央監視装置と汚水処理施設の機器を更
新します。

280,000千円

公共下水道の利用者は約
35,000人だよ。
面積でいうと、
1,300万㎡以上の区
域で使用されてるんだ。

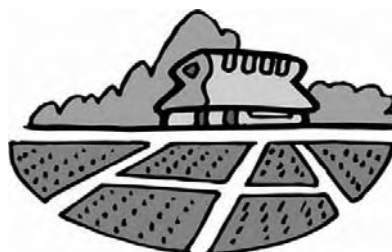


農業集落排水事業特別会計

台所やトイレなどで流した生活雑排水をきれいにす
る農業集落排水事業を運営するための会計です。

公共下水道と同じく、利用者が負担する使用料など
を徴収し、施設の運営管理や下水道の整備などを行
います。

農村地帯の数集落を1単位として、下水道施設の整
備・管理をしています。



平成27年度予算は6億8,000万円
前年度比1億4,400万円減

今年度は、管きよの整備費が約1億1,100万円減額したこと等により全体予算は
減額となっています。また、小原地区を中心とする友部北部地区においてⅡ期地区の管
路施設工事を行います。

岩間駅東土地区画整理事業 特別会計

岩間駅東地区の宅地利用増進を図る、区画整理事業を運営するための会計です。

今年度は、3区画の保留地の販売を進めます。



平成27年度予算は約6,700万円
前年度比約2,400万円減

区画整理のための整備事業は終了しており、今年度は、整備した保留地の販売と、過年度に借り入れた資金の償還が主な事業となっています。

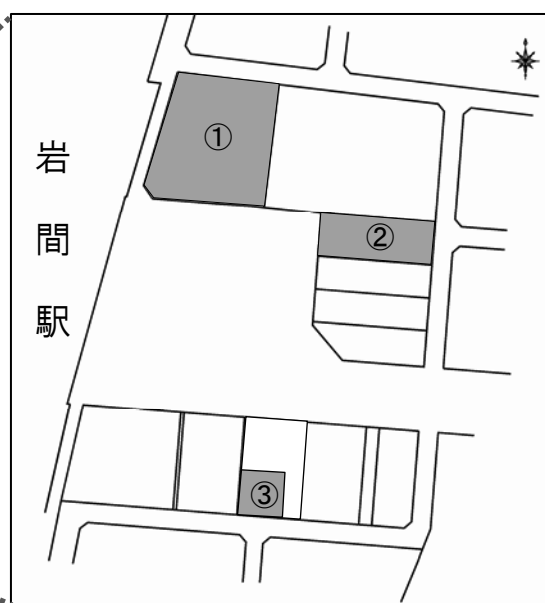
○販売区画の概要

今回販売しているのは、商業施設や住宅に適した土地となっています。

用途地域	近隣商業地域 (建ぺい率：80%、容積率：200%)
地目	宅地
建築条件	なし
別途費用	水道加入金、下水道受益者負担金
販売方法	先着順にて随時受付



画地番号	地番	地積	単価	販売価格
①	下郷7004-1	1,339.17㎡	30,467円/㎡	4,080万円
②	下郷7004-3	467.20㎡	29,966円/㎡	1,400万円
③	下郷7005-8	225.00㎡	32,444円/㎡	730万円



*お問い合わせ・申込受付は 都市計画課 0296-77-1101 (内線586・587)

市立病院事業会計

笠間市における保健施設の中核として公衆衛生の向上及び増進に寄与し、地域医療を確保するために設置された市立病院を運営するための会計です。

外来診療収益等によって医療サービス費用をまかなう『収益的収支』と出資金などによって建設費用をまかなう『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。



平成27年度予算は約7億5,200万円
前年度比約5,100万円増

今年度は、新しく建設する市立病院の実施設計を行うため全体額が増となっています。

また、前年度に引き続き『かさま地域医療教育ステーション』として、筑波大学付属病院から指導医を受け入れます。

○平成27年度業務予定量

病床数	30床	
年間患者数	入院	8,418人
	外来	26,730人
一日平均患者数	入院	23人
	外来	110人

○主な事業

かさま地域医療教育ステーション事業

地域医療を担う人材育成のために、筑波大学付属病院の指導医を受け入れ、診療及び医学生・研修医の教育指導を実施します。

16,000千円

市立病院整備事業

平成30年4月オープンを目指し、移転するための建物を整備します。今年度は、整備をするための実施設計を行います。

48,600千円

○外来診療のご案内

診療時間		診療科目	
午前	8:30 ~ 11:00	総合診療科	月曜～金曜の午前・午後
午後	13:00 ~ 16:00	皮膚科	木曜の午前
夜間 (初期救急)	19:00 ~ 21:00	予約外来	下表のとおり

【予約外来一覧表】

	火	水	木	金
午前	禁煙	-	-	-
午後	特別	睡眠時無呼吸 ・もの忘れ	特別	特別・ もの忘れ

* 祝日、年末年始は休診となります。

* 日曜日は初期救急診療のみとなり、診療時間は 9:00~17:00になります。



*お問い合わせ 笠間市立病院 0296-77-0034

水道事業会計

安心安全な水道水を家庭に供給する水道事業を運営するための会計です。

水道料金によって水の供給にかかる費用をまかなう『収益的収支』と出資金などによって建設費用をまかなう『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。



平成27年度支出予算は約25億700万円
前年度比約7,000万円減

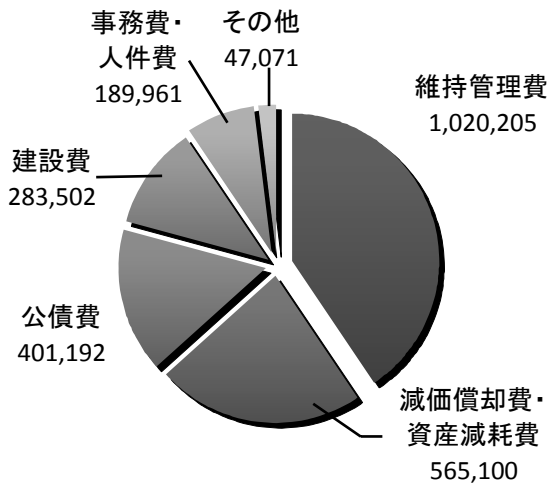
今年度は、道路や下水道などの整備に伴う水道管の布設替工事が減少する見込みです。

また、前年に引き続き、老朽管の更新工事を推進します。

○平成27年度業務予定量

給水件数	24,412 件	
年間総給水量	6,796,153 m ³	
一日平均給水量	18,568 m ³	
建設改良事業	事務費	8,206 千円
	施設改良費	283,502 千円

○歳出内訳



年間給水量は、約680万m³。
東京ドーム約5.5個分もあるんだよ。



○主な事業

水道施設等整備事業

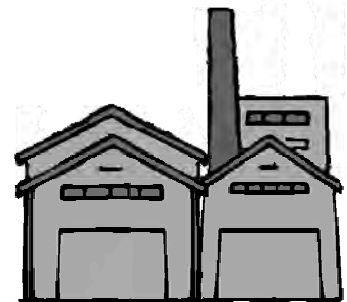
老朽管を耐震性に優れた水道管へ布設替えをする工事や、取水井施設の更新工事などを実施します。

187,900千円

工業用水道事業会計

岩間工業団地へ工業用水を供給する工業用水道事業を運営するための会計です。

上水道と同じように、『収益的収支』と『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。



平成27年度支出予算は約2,800万円
前年度比約600万円減

今年度は、建設費用等の資本的支出が無いいため、減額となっています。

○平成27年度業務予定量

給水件数	4 件
年間総給水量	149,694 m ³
一日平均給水量	409 m ³

VI. 市債の状況

平成27年度の借入額は約41億6,100万円
年度末現在の残高は約539億600万円の見込

『市債』とは、市が金融機関等から借り入れるお金のことです。事業を実施する資金として借り入れ、後年度に返済（償還）していきます。

今年度は、借入予定額が前年度当初に比べて約4億5,700万円増えています。一般会計において、認定こども園整備事業債の約9億2,300万円や地域交流センター地域事業債の約1億6,500万円を借り入れることが主な増の理由となっています。

また、一般会計における借入額を市債の区分別にみると、合併特例債が約18億3,000万円、緊急防災・減災事業債が約1億2,500万円、普通交付税の代替措置である臨時財政対策債が12億1,000万円となっています。

○市債状況一覧

(単位：百万円)

会計・市債区分	平成26年度末 現在高見込額	平成27年度		平成27年度末 現在高見込額
		借入予定額	元金償還予定額	
一般会計	29,654	3,165	2,672	30,147
普通建設事業債等	6,799	125	982	5,942
合併推進債・ 合併特例債	8,179	1,830	880	9,129
臨時財政特例債等	14,676	1,210	810	15,076
公共下水道事業 特別会計	16,381	790	1,019	16,152
農業集落排水事業 特別会計	4,215	140	190	4,165
岩間駅東土地区画 整理事業特別会計	90	0	40	50
病院事業会計	75	26	6	95
水道事業会計	3,579	40	322	3,297
合 計	53,994	4,161	4,249	53,906

合併特例債	合併した市町村が実施する、建設計画に基づいたまちづくり事業のために借り入れるもの
緊急防災・減災事業債	緊急に実施する必要性が高く、即効性のある防災・減災事業のために借り入れるもの
臨時財政対策債	普通交付税の代替措置として借り入れるもの

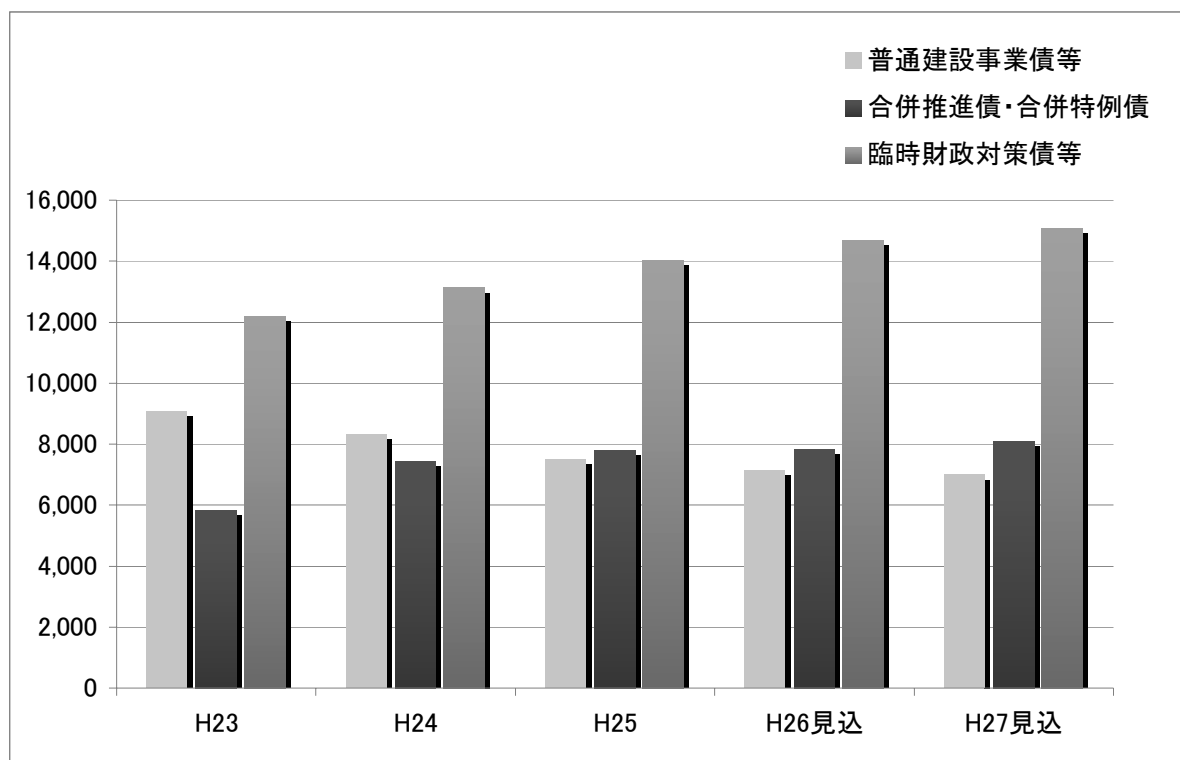
○年度末現在高推移

年度末現在高は、ほぼ昨年度並みとなっています。直近5年間の推移は約538億円前後で上下している状況です。特別会計や企業会計の残高は減少していますが、一般会計の残高が増えているため全体として昨年度並みになっています。

高利率の借入については、積極的に繰上償還をし、毎年の借り入れについては最小限のものにしていますが、毎年借り入れている臨時財政対策債の残高が増えていることが主な原因となっています。

【市債の現在高推移（一般会計）】

（単位：百万円）



いな吉メモ◎ 『 どうしてお金を借りているの?? 』

今年度は約41億円を借り入れて、事業を実施するための資金にする予定になってるんだ。「借金をしないと事業ができないなら、事業自体を見直したほうが良いのではないか??」と思う人がいるかもしれないけれど、実は、資金が不足するから借り入れているだけじゃないんだよ。

もし、認定こども園や地域交流センターなどの施設をつくる時にお金を借りなかったら、今年度の税金で全ての経費をまかなわなければならないんだ。でも、たまたまその施設を整備をした年だけ住んでいた人がいたら、施設を利用しないのに自分の税金が使われているようで、なんだか不合理な気がするよね。

そこで、お金を借り入れて整備して、借金を毎年返済することで、将来にわたって実際の利用者の世代が経費を負担するかたちにしているんだ。



Ⅶ. 基金の状況

平成27年度末現在高は約145億2,800万円
対前年度比約14億6,600万円減

基金とは家計で例えると貯金のようなものです。定めた目的のために、取り崩して（繰り入れて）使用することができます。

今年度は、一般会計の基金繰入金が約2億4,800万円の増となっています。特定目的基金である、まちづくり振興基金の繰入金約1億200万円や、企業立地促進基金の繰入金約1億100万円が皆増していることが主な原因となっています。

また、積立額は約1億1,200万円の減となっています。昨年度まで積み立てしていた、まちづくり振興基金の積立金約2億8,000万円が皆減していることが主な原因となっています。

○基金状況一覧

(単位：百万円)

会計区分	平成26年度末 現在高見込額	平成27年度		平成27年度末 現在高見込額
		繰入予定額	積立予定額	
一般会計	15,581	1,709	210	14,082
財政調整基金	6,513	830	9	5,692
減債基金	1,882	0	1	1,883
特定目的基金	5,707	879	199	5,027
土地開発基金	1,479	0	1	1,480
特別会計	413	91	124	446
国民健康保険 財政調整基金	21	20	0	1
介護給付費準備基金	209	0	123	332
公共下水道事業基金	140	60	0	80
農業集落排水事業 市債償還基金	43	11	1	33
合計	15,994	1,800	334	14,528

財政調整基金	年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金
減債基金	地方債の償還を年度を越えて計画的に行うために設けられた基金
特定目的基金	各種事業などの特定の目的のために設置された基金（目的ごとに別々に設置）
土地開発基金	事業の円滑な執行を図るため、公共の用に供する土地などを取得するために設けられた基金

元氣かさま 応援基金

笠間市は、歴史と文化の薫る豊かな地域資源や広域交通の優位性を生かした独自のまちづくりを推進するために、「元氣かさま応援基金」を設置しています。

この基金は、笠間市を応援してくださる方々からの「ふるさとづくり寄附金」を積み立てて、寄附の目的に沿った事業の財源として活用しています。

平成26年度にいただいた寄附金は、平成27年度の下記の事業に活用させていただく予定となっています。

○元氣かさま応援基金活用事業一覧

(単位：千円)

事業の区分	事業名	活用金額	担当課
まちづくり支援事業	協働のまちづくり推進事業	85	市民活動課
	地域集会所建設（増改築）事業	621	市民活動課
	市民活動助成事業	1,980	市民活動課
子ども支援事業	青年海外派遣事業	1,578	市民活動課
	地域子育て支援拠点事業	2,471	子ども福祉課
	かさま健康ダイヤル24事業	4,947	健康増進課
芸術・文化支援事業	高齢者芸術鑑賞事業	1,200	生涯学習課
	かさま国際音楽アカデミー事業	4,516	生涯学習課



○ふるさとづくり寄附金

平成26年10月より、寄附金の受付がインターネット上で可能となり、またクレジットカード決済もできるようになりました。特典として送らせて頂いていた笠間の特産品も、寄附者の方が選べるようになっていきます。

皆さまの温かい「応援」をお待ちしております。



甘熟栗



かさまの「う米」

公式サイト <http://www.citydo.com/furusato/official/ibaraki/kasama/>

わたしたち笠間市民のねがい ー笠間市民憲章ー

笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう
健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう
歴史と文化を大切にし、豊かでうるおいのあるまちにしよう
思いやりの心を育て、明るいほほえみのあるまちにしよう
きまりを守り、安心でやすらぎのあるまちにしよう

笠間市の花・木・鳥



きく



さくら



うぐいす

平成27年度「わかりやすいかさまの予算」

平成27年3月発行

編集・発行 笠間市総務部財政課

〒309-1792

笠間市中央三丁目2番1号

TEL 0296-77-1101

URL www.city.kasama.lg.jp

加支



筑波海軍航空隊記念館
(旧筑波海軍航空隊司令部庁舎)